



平成23年度予算案

一般会計

649億8,712万円

都市再生とコミュニティ創生で切り拓く、「輝く三鷹の未来」を目指して、 持続可能な高環境・高福祉のまちづくりの推進を

平成23年度の市の予算案が、2月24日から始まった市議会定例会で審議されています。

新年度の予算案は、市政の使命を確実に果たし、「豊かさと品格ある三鷹市」を実現するために、「都市再生」と「コミュニティ創生」の2つを最重点課題とするとともに、「生活のセーフティーネットの確立」、「子育て・教育環境

の充実」、「協働による第4次三鷹市基本計画の策定及び個別計画の策定・改定」の3つを重点課題として編成しました。

「輝く三鷹の未来」を見据え、将来のあるべき基礎自治体の自治の実現に向けて、引き続き「持続可能な高環境・高福祉のまちづくり」を推進していきます。

予算案の概要について2・3面で紹介します

新年度の施政方針(概要)



三鷹市長 清原 慶子

新しい年に入り、世界経済や日本経済は厳しい情勢が続く、加えて国政の不透明な状況とともに、国際関係も不安定な状況にあります。こうした変動する現代にあつて、三鷹市は、直面する諸課題を解決するための具体的施策を執行し、「輝く三鷹の未来」を切り拓いていくという強い意志と改革の力を求められています。

そこで私は、昨年度の取り組みをさらに発展させ、本年度を「都市再生」と「コミュニティ創生」で切り拓く、「輝く三鷹の未来」を目指す年度と位置づけ、今を生きる市民の皆様と共に、未来への責任を果たすために、「持続可能な高環境・高福祉のまちづくり」を引き続き推進していきたいと考えています。

このような基本的な考え方に立つて、私は、「都市再生」と「コミュニティ創生」の2つを本年度の最重点課題とするとともに、「生活のセーフティーネットの確立」、「子育て・教育環境の充実」、そして「協働による第4次三鷹市基本計画の策定及び個別計画の策定・改定」の3つを重点課題として、市政の使命を確実に果たし、「豊かさと品格ある三鷹市」を実現するための予算の編成に努めました。

1 「都市再生」の取り組み

最初の最重点課題である「都市再生」の取り組みは、市の暫定管理地として東京多摩青果株式会社三鷹市場跡地において、防災公園、スポーツ施設、多機能複合施設の整備を行う「市民センター周辺地区防災公園街区整備事業」を引き続き進め、本年度は、平成25年度の工事着工に向けて実施設計に着手します。また、

公共施設の計画的な維持・保全を進める「アシリティ・マネジメント」の取り組みとして、公共施設の適正かつ効率的な維持管理に向けた調査研究やそのための計画の策定を行います。



「市民センター周辺地区整備事業」検討中のイメージ模型

2 「コミュニティ創生」の取り組み

第2の最重点課題である「コミュニティ創生」の取り組みは、地域に暮らす人々が、つながり、支え合うための新しい「共助」の仕組みづくりである「地域ケアネットワーク」の推進などに取り組みます。東部地区に設立するネットワークの事業展開を図るとともに、新たなネットワークの設立に向けた支援を行います。また、既に設立されている井の頭地区、新川・中原地区、西部地区において、相談居場所づくりや見守りなどのネットワーク化を支援する取り組みを推進します。



地域のつながりづくりの場となる「地域ケアネットワーク」

3 「生活のセーフティーネットの確立」の取り組み

第1の重点課題である「生活のセーフティーネットの確立」の取り組みは、市民の安定した生活を確保するために、国の社会保障制度への適切で着実

な対応などに取り組みます。生活保護受給者への就労支援などによる自立の促進と生活保護制度の適正な運用に向け、自立支援員の配置を行うとともに、低所得者、離職者等のための相談窓口を継続して開設します。また、買物が不便な地域における利便性向上を図るための買物支援のモデル事業を開始するとともに、消費生活の安定と商店街の活性化に向けて、商店会連合会と商工会による三鷹むらさき商品券(市内共通商品券)事業を継続して支援します。



買い物客でにぎわう商店街

4 「子育て・教育環境の充実」の取り組み

第2の重点課題である「子育て・教育環境の充実」の取り組みは、少子化が進む中、これからの三鷹のまちづくりを担う子どもたちを育む上で、若い世代に住みたいと思われがちとするために、子育て支援策などを更に拡充します。公有地を活用した民間認可保育所の誘致や公立保育園の弾力的な運用、南浦西保育園の建替え(平成25年度新施設開設予定)などによる定数拡大を図ります。また、学校耐震補強工事や三鷹中央学園第三小学校の建替えに取り組みるとともに、平成24年度末までにすべての小中学校に空調設備を整備するなど、教育環境の向上を図ります。



元気いっぱい遊ぶ保育園児たち

5 「協働による第4次三鷹市基本計画の策定及び個別計画の策定・改定」の取り組み

第3の重点課題である「協働による第4次三鷹市基本計画の策定及び個別計画の策定・改定」の取り組みは、第4次基本計画とともに、同時に取り組みを進める24の個別計画の策定や改定を行います。第4次基本計画と各個別計画の骨格案と素案の策定を順次進める中で、各段階で広報特集号を発行してこれらの概要を一体的に情報提供するとともに、関係審議会や市民会議での検討、パブリックコメントの実施や無作為抽出の市民の皆様による「まちづくりディスカッション」の開催など、多層的で多層的な市民参加と協働による計画策定を進めます。



市内を歩き、まちづくりに多くの意見が寄せられた昨年9～12月の「まち歩き・ワークショップ」

私は、三鷹市という都市が持つ潜在的な可能性は大きなものがあり、その可能性を表現できるのが市民の皆様「市民力」であると思っています。そして、協働の取り組みには謙虚に市民の皆様との協働を進める「職員力」が不可欠でもあります。私は、8年前、市長に就任した時の「初心」を忘れず、かつて市民として経験した「参加と協働のまちづくり」の意義を再確認しつつ、今は市長として、市民の皆様との協働への「思い」とそれを推進するという「志」の原点を大切にしたいと思っています。そして、「輝く三鷹の未来」を見据え、将来のあるべき基礎自治体の自治の実現に向けて、市民の皆様とご一緒に、引き続き「持続可能な高環境・高福祉のまちづくり」を推進していきたいと決意しています。

施政方針全文は市のホームページでご覧いただけます。

をお知らせします

平成23年度の主な事業

※ここでは、平成22年度末をもって期間満了となる第3次基本計画(第2次改定)に準じて分類・整理を行っています。

安全安心のまちづくり

- 防犯啓発事業の推進 1,804万4千円
- 防犯設備整備事業の推進 250万円
- 市内街路灯のLED化 1,216万3千円
- 救急医療情報キットの支給(写真①) 114万3千円
- 家具転倒防止器具の設置普及 3,037万6千円
- 耐震継手化緊急10ヵ年事業の推進 2億7,449万2千円



写真①
高齢者や障がい者の救命活動に活用するため、火災の被害を受けにくい冷蔵庫内にかかりつけ医や持病などのメモを保管する「救急医療情報キット」を支給します。

地域ケアの推進

- 地域ケア推進事業の拡充(写真②) 1,379万円
- 災害時要援護者支援事業の推進 284万3千円
- 地域密着型サービス拠点の整備 1億4,552万円



写真②
コミュニティ住区を基盤とした地域ケアネットワーク事業の拡充、傾聴ボランティアや認知症サポーターの養成講座など、地域福祉を推進する人材の育成や活動支援を行います。

都市の更新・再生

- 市民センター周辺地区防災公園街区整備事業の実施に向けた取り組み…4面にこの事業の関連記事を掲載しています。 5,542万3千円
- 大沢コミュニティ・センターの耐震補強の実施 2億4,355万6千円
- 公会堂等整備事業の推進(写真③) 6億5,215万1千円
- 新ごみ処理施設の整備 6億1,780万円
- 学校耐震補強工事の実施 1億6,117万円
- 三鷹中央学園第三小学校の建て替え 5億664万4千円
- 鷹南学園第五中学校体育館の建て替え 1億1,114万5千円



写真③
三鷹市公会堂のリニューアルと三鷹市公会堂別館の建て替えにより、耐震補強とバリアフリー化を進めます。

バリアフリーのまちづくり

- 地区公会堂のバリアフリー化の推進 443万1千円
- 市道第135号線(三鷹駅前通り)の整備(写真④) 1億3,149万8千円
- あんしん歩行エリアの整備 2,144万4千円



写真④
三鷹駅前通りへの歩道設置など、三鷹駅前周辺地域のバリアフリー化を進めるため、用地取得や電線などを地中化する予備設計を実施します。

子ども・子育て支援

- 絵本館プロジェクトの推進 2,645万8千円
- 学童保育所の保育時間の延長 5億538万9千円
- 認証保育所の開設支援 5億3,326万2千円
- 公立保育園の弾力運用による保育定数の拡大(写真⑤) 3,157万3千円
- 公有地を活用した民間認可保育所の誘致(写真⑥) 5億7,994万6千円
- 子宮頸がん等予防接種事業の拡充 4億864万9千円
- 学校給食の充実と効率的な運営の推進 2億569万8千円
- 学校空調設備整備事業の実施 2,500万円

平成22年度12月補正予算・3月補正予算(案)に計上の7億3,700万円と合わせ、平成24年度までに全市立小中学校へのエアコン整備完了を目指します



写真⑤
既存の公立保育園の運用定数を見直し、保育の質を確保しながら定数を拡大(36人)します。また、中央保育園建て替えに伴う仮設園舎跡の公有地に民間認可保育所を誘致します。

協働のまちづくり

- 第4次基本計画等の策定に向けた取り組み 1,713万6千円
- 三鷹ネットワーク大学事業の充実に向けた協働の推進 8,006万8千円

ユビキタス・コミュニティの推進

- 次期基幹系システムの構築 2億337万円

そのほかの新規・拡充事業など

- 都市型産業誘致の促進 69万3千円
- 商店街の維持・振興(むらさき商品券への補助など) 6,095万1千円
- 買物支援の充実(写真⑥) 800万円
- 緊急雇用創出事業の拡充 2億1,594万9千円
- みたかバスネットの推進(写真⑦) 2億104万9千円
- 空きびん・空き缶の戸別収集の拡充 1億6,875万2千円
- スポーツ祭東京2013(東京国体)の推進 2,064万6千円

写真⑥
空き店舗や広場を活用した定期的なマルシェ(市場)開催、購入品の宅配や送迎などの買物支援モデル事業を実施し、商店街の活性化を図ります。



写真⑦
コミュニティバス路線の見直しと拡充に取り組むほか、既存の明星学園ルートに電気バスを導入し、環境負荷の軽減効果を検証します。

平成23年度の予算案

平成23年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は、1,017億4,161万7千円で、前年度予算と比較すると、13億8,915万3千円(1.4%)の増となります。

一般会計の予算額は、649億8,711万7千円で、前年度予算と比較すると、5億2,086万6千円(0.8%)の増となっています。これは、鷹南学園東台小学校建替工事の終了による減がある一方、公有地を活用した民間認可保育所の誘致に取り組むことなどによる増や、子ども手当の増、公会堂等整備事業や三鷹中央学園第三小学校建替事業が本格化することなどの増によるものです。

特別会計の予算額の合計は、367億5,450万円で、前年度予算と比較すると、8億6,828万7千円(2.4%)の増となっています。これは、下水道事業特別会計の減や、受託水道事業特別会計が徴収系事務の廃止などにより減となる一方、国民健康保険事業特別会計で保険給付費等が増となっていることや、介護保険事業特別会計でも保険給付費が増することなどによるものです。

今号ではこうした平成23年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

☎財政課☎内線2126

各会計別の予算額

(単位:千円)

会計	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	増 △減		
一般会計	64,987,117	64,466,251	520,866	0.8%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	16,662,962	15,599,891	1,063,071	6.8%
	下水道事業特別会計	3,509,419	3,861,616	△352,197	△9.1%
	介護サービス事業特別会計	1,098,290	1,197,043	△98,753	△8.2%
	介護保険事業特別会計	10,561,094	10,102,200	458,894	4.5%
	受託水道事業特別会計	1,748,583	2,088,563	△339,980	△16.3%
	後期高齢者医療特別会計	3,174,152	3,031,262	142,890	4.7%
	(老人医療特別会計)	—	5,638	△5,638	皆減
	合計	36,754,500	35,886,213	868,287	2.4%
総計	101,741,617	100,352,464	1,389,153	1.4%	
純計	94,067,110	92,839,441	1,227,669	1.3%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。
 ※医療制度改革に伴い、老人医療特別会計は平成22年度で廃止しました。
 ※△はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位:百万円)

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出総額	56,584	3.1%	57,850	2.2%	61,158	5.7%	64,466	5.4%	64,987	0.8%
うち市税	34,712	5.3%	35,110	1.1%	35,462	1.0%	33,488	△5.6%	33,748	0.8%

※△はマイナス。

「平成23年度施政方針・予算概要」(1冊200円)「平成23年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊1,000円)は、相談・情報センター☎内線2215(市役所2階)で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市のホームページでもご覧いただけます。

※1 %は、一般会計予算額に占める割合を、矢印(▶▶)は、前年度予算と比較した増減の傾向を示しています。
 ※2 1人当たりの金額は、平成23年度の人口見込み180,000人で割り戻した金額です。

一般会計 649億8,712万円 (1人当たり361,040円)

歳出予算

議会費
市議会の運営に



4億7,457万円 0.7% ▶
(1人当たり2,637円)

総務費
市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



85億7,891万円 13.2% ▶
(1人当たり47,661円)

民生費
社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



309億7,602万円 47.7% ▶
(1人当たり172,089円)

衛生費
健康増進、ごみ処理、公害対策などに



47億9,977万円 7.4% ▶
(1人当たり26,666円)

土木費
道路、公園整備、緑化対策などに



53億6,027万円 8.3% ▶
(1人当たり29,779円)

消防費
消防や防災対策などに



22億6,123万円 3.5% ▶
(1人当たり12,562円)

教育費
小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに



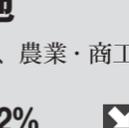
71億5,838万円 11.0% ▶
(1人当たり39,769円)

公債費
市債(借入金)の返済に



45億6,411万円 7.0% ▶
(1人当たり25,356円)

その他
消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに



8億1,386万円 1.2% ▶
(1人当たり4,521円)

歳入予算

市税
みなさんからお預かりする税金



337億4,824万円 51.9% ▶
(1人当たり187,490円)

各種交付金
使い方が定められていない国・都からの交付金など



28億4,524万円 4.4% ▶
(1人当たり15,807円)

使用料・手数料、分担金・負担金
保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入



16億4,209万円 2.5% ▶
(1人当たり9,123円)

国庫支出金
使い方が定められている国からの負担金・補助金



101億1,399万円 15.6% ▶
(1人当たり56,189円)

都支出金
使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



67億8,733万円 10.5% ▶
(1人当たり37,708円)

繰入金
基金(貯金)の取り崩しなど



27億7,651万円 4.3% ▶
(1人当たり15,425円)

市債
建設事業などのための借入金



36億6,000万円 5.6% ▶
(1人当たり20,333円)

その他
前年度決算の繰越金や財産売却収入など



34億1,372万円 5.2% ▶
(1人当たり18,965円)